

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。

今月の縁日はお大師様の  
年命日(三月二十一日)、  
ご祥当です。旧暦で行っ  
ている知立の縁日は十一  
日、新暦の覚王山は毎月  
恒例の二十一日。ご祥当  
が来ると、いよいよ春本  
番ですね。

般若心経の意味を学ぶ  
今年のかわら版。生き方  
や社会のあり方を考える際  
の道標(みちしるべ)です。  
今月は「観自在菩薩(か  
んじーざいぼーざー)行  
深般若波羅蜜多時(ぎよ  
うじんはんにゃーはーら  
ーみーたーじー)」の十四  
文字。

「観自在菩薩」は修行時  
代のお釈迦様のお名前だ  
す。「観自在」は自由自在  
に何ごとにも囚(とら)わ  
れずにものごとを考える  
ということ。お釈迦様は  
そのような菩薩であった  
のでしよう。菩薩は仏(如  
来)になる前の修行中の  
身であることを表します。

人間は誰でも五欲(食  
欲、性欲、睡眠欲、財欲、  
名誉欲)を持ちます。自  
分の欲を満たそうと「俺  
が俺が」という「自我」に  
振り回され、自分の固定  
観念や先入観でものごと  
を考えます。それではだ  
めだと論じています。

先月も登場しましたが、  
「般若」はお釈迦様の知恵、  
「波羅蜜多」は覚りの境地  
に達すること。そのため  
に菩薩は「施すこと(布  
施)」「戒めること(持戒)」「  
我慢すること(忍辱)」「努  
力すること(精進)」「心  
を落ち着けること(禅定)」「  
慈悲心を持つこと(知恵)」  
の六つを実践します。

「観自在菩薩行深般若波  
羅蜜多時」は「修行中の  
お釈迦様がものごとを深  
く考え、六つの行を実践  
する時」というような意  
味のようです。  
「覚り」は単に「理解  
する」ことではありません  
。自然に「実践する」こ

とです。観自在菩薩と呼ば  
れたお釈迦様は、覚りを  
ひらくために六行を実践  
しました。

固定観念に囚(とら)わ  
れず、自らを戒め、我慢  
し、努力し、心を落ち着か  
せ、慈悲の精神で周りの人々  
に接することの大切さ、言  
わば「利他」の精神を教  
えていきます。

多くの人に親しまれる  
ご心経。わずか三百文字  
弱の短いお経の中に、お  
釈迦様の教え、人間関係  
や社会の問題を和らげる心  
のあり方、生き方につい  
ての教えがたくさん詰ま  
っています。みんなが「観  
自在」であれば、国同士、  
人同士の争いや問題も少  
なくなるでしょうね。

弘法さんの縁日にいら  
っしゃった皆さんに一句  
進呈。「春霞(がすみ)季  
節を運ぶご祥当」。それ  
は、また来月。ごきげん  
よう。合掌。

※



## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田  
大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元  
の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆  
しています。今年で、足かけ14年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早  
稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

### 弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

第1号から第78号は、  
2008年に大法輪閣から本  
になって出版されました。

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401

